施策評価(平成29年度)

1 基本項目

基本目標 4			4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
	基本施策 2		2	自然と調和した安全で快適な都市の形成
	施	策	29	道路

基本方針

だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みます。

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
羽村駅自由通路の拡幅等整備	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
道路・橋梁の計画的な維持補修	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
主要幹線道路の整備	次年度以降計画を 見直す	Α	Α	В	レベルアップ
道路案内標識の改善	次年度以降計画を 見直す	Α	Α	Α	現状のまま継続

3 施策評価結果

施策29「道路」では、4事業について評価を実施した。

進捗状況については、「主要幹線道路の整備」は、引き続き課題の整理などに取り組む必要があり、「道路 案内標識の改善」では、平成29年度に関係機関との調整や、改善が必要な標識の精査を行ったことにより、 「次年度以降計画を見直す」としている。

また、「羽村駅自由通路の拡幅等整備」などの2事業は、「計画どおり完了」としており、滞りなく履行されている。

各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)については、すべてA(適切なもの)と評価している。

「主要幹線道路の整備」では、有効性(成果)において、具体的な整備計画等の検討に至っていないことから、B(課題があり、今後改善が必要なもの)と評価し、その他の事業については、A(適切なもの)と評価している。

これらを踏まえた結果、施策29「道路」については、「主要幹線道路の整備」の進捗に課題はあるが、概ね順調に推移している。

今後の方向性については、「主要幹線道路の整備」では、道路維持保全計画を踏まえ、道路の改修工事の必要性や無電柱化及び道路幅員構成等を検討し整備促進を図っていくことし、その他の事業については、引き続き「現状のまま継続」していくこととする。

ΠZ	平成29年度 【基本シート】																
		9 平 及 5 項 目		【左	本ンート			作品	部署		和 古	建設 部			建築課		
广	<u>坐</u> 个	、 次口			事業名				<u>计程</u>	実施	<u>期間</u>	事業種別	運営	'手法	プロジェクト		
00	羽林	寸駅自1	由通路		拡幅等整備				17 年		続	自治事務(市独自			0		
	01								年								
	02								年								
	03								年								
	04								年								
	05								年								
	関連	丰課	土	ド説	、企画政策認	₽											
į	基本	目標	4	ひと	と環境にやさしい多	安全で快	適なまた	施策	区分	29		道路	重点	事業No.	1		
2.	2.事業の概要																
	を策り 本方	′ ー		がを	安全で快適に	利用で	ごきる 。	よう道路	점•橋梁	機能の	D充実 [·]	や適正な維	持管理	里に取	り組みま		
内容	事 駅利用者ならびに東西地区間の通路利用者の利便性や安全性の向上を図るため、羽村駅自由通路 業 の拡幅等整備を進めます。 内容																
	拠沒	5 令															
	例	-															
要	綱領	<u> </u>															
3.	実施	計画		_													
	Pla	an【計	圃		平成28年度	(現況	1)					か年計画		里に取り組みま			
		KHI			拡幅等整備の推進			<u>平</u> 反	【29年 月	麦	同左	成30年度		平成	31年度		
					払幅寺登舗の推進	<u>E</u>		在			旧在						
	車	業内	宓		店舗移転工事		店	舗移転工	事								
	事業量等					自	由通路拡	幅工事		自由通過	路拡幅工事						
									東口階段工事								
4.																	
					人件費の目安)	【事系	執行に	こ要する	人数	と1人	当たりの年					
		贈	層•	計				(現況)				平成30年			成31年度		
	職層・職種別 人数 概算					時間	人数	概算	時間	人数 概算	[時間	人数	概算時間				

①十间未物时间(八斤其以百文/ 【事物秋门已女子3八数CT八三/2700千间未物时间】									
職層・職種別	平成28年度(現況)		平月	成29年度	平月	成30年度	平成31年度		
中以/音·中以作主/小	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	
係長職	1人	240 H	1人	240 H	1人	240 H	人	Н	
主事·主任職	1人	240 H	1人	240 H	1人	240 H	人	Н	

ク事業費

<u>②</u> 争耒貸				
事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	163,703	400,262	760,155	
人件費(係長職)	1,194	1,194	1,194	
人件費(主任・主事職)	816	816	816	
総事業費(合計)	165,713	402,272	762,165	
国庫支出金				
都支出金		32,100	131,400	
受益者負担額				
その他特定財源		180,000	328,631	
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	165,713	190,172	302,134	
財源内訳(合計)	165,713	402,272	762,165	_

(3)⊐	ス	卜計	-算

56,079 人における1人あたりのコストは、 56,079 人における1人あたりのコストは、 の 出来高 ア市民 イ 対象者 ウ 成果(物)

7,173	円
7,173	円
のコストは	円

※ 対象者:

平成29年度 【事務事業評価	i(事後)】			管理No	143				
Do 【実行】 5.実施結果									
	画を見直し完了	(次年度以降計画	画を見直す) 🔲	遅延 中	断				
無 有	\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	指示事項・		60 A - M + L A - +					
		循については、 確実な対応を進	関係部署における めること。	総合調整会議	等を行いつ				
②活動実績	きについてけ 必	今 囲 敷 継 化 レー	て介面み笠理な中	心气洗风热点	た行うレレナ				
羽村駅自由通路の拡幅等整備については、総合調整機能として企画政策課を中心に渉外対応を行うとともに、工事については、土木課や区画整理推進課、産業振興課などと連絡調整を行い、事業の円滑な推進を図ることができている。									
③投入実績		一块工 太田安	マ 佐 佐 / 目 仏 〉 【	油 	±1 47 ±5				
決算の内訳(単位:千円) 事業費	予算額(当初) 400,262	補正·流用額 ▲ 147,214	予算額(最終) 253,048	決算額 210,245	<u>執行率</u> 83.1%				
年間業務時間(人件費の目安)	当初計画	実績		,					
・	人数 概算時間								
主事・主任職	1人 240		<u>40 Н</u> 40 Н						
④事業量(活動量)		1		÷ + +					
実施計画		Γπ. ch	今年。 29年度協定に基づ	度実績 ジェ業の選集	1				
【平成29年度協定に基づく事業の 〇店舗移転の完了 〇自由通路拡幅の着手(全体エ		⇒ ○店部 ○自由	29年度協定に奉 <i>-</i> 甫移転の完了 日通路拡幅に着手 歩を図った)						
Check【評価】 S…より適切	けたもの ひ…流	通切なもの	B…課題があり、	今後 改善が心	(亜かもの				
項目	<u> </u>	<u>₹ 91.0 0 0 0</u>			長評価				
妥 [○]		な事業である 月者・対象者のニーズ	(需要)がある		Α				
効 (量 単		3	民間活力を活用してし	اه)	Α				
有 (計画の事業量に達しなかつ	□ 事業の効	業量に達した 果が表れている	計画以上の事業量を	達成した	Α				
性 一 施策の基本方針推進する		へめつに							
7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価 店舗の移転は、予定どおり完了することができた。今後も、駅利用者ならびに東西地区間の通路利用者の 利便性や安全性の向上を図るため、自由通路の拡幅整備を計画的に進めます。									
Action【改善】 8.今後の方向性 レ 現状のまま継続 【改善点】	レアップ 🄲 縮	小 厘塞施主	上体の見直し 🔲	休止・廃止	完了				
【今後の取組方針】									
羽村駅は毎日3万人近くの乗りついて徹底し、東口階段の早期					全を確保に				

平	成2	9年度		【基本シート】						
1.	基本	Σ項目			作成	作成部署 都市建設 部			土木課	
事業名					開始	ì年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	00 道路・橋梁の計画的な維持補修					白	=			
	01	市道補	修等	工事	不明	左	継続	自治事務(市独自)	業務委託(士部)	
	02	2 市道FWD調査委託				28 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(士部)	
	03	羽村橋	耐震	補強等工事	平成	29 年	今年度限り	自治事務(市独自)	業務委託(士部)	
	04	羽村堰	下橋	外2橋点検業務委託	平成	29 年	今年度限り	自治事務(市独自)	業務委託(士部)	
	05					左				
関連課										
		目標	-	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策	区分	29	道路	重点事業No.	2

2.事業の概要

施策の 基本方針 す。 だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みま

事 「羽村市道路維持保全計画」および「羽村市橋梁長寿命化修繕計画」に沿った、道路・橋梁の計画的な 維持補修を行います。 内

容

根拠法令 条例 要綱等

3.実施計画

O.类心们固	亚代00年度(理识)		3か年計画							
Plan【計画】	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度						
	市道補修等工事(市道第202、 1003、2003、2091号線 L=987m)	同左(市道第101、1002、1003 号線 L=1,380m) (道路舗装修繕実施プログラ ム基づく優先路線の整備)	同左	同左						
	道路の舗装構造評価(FWD) 調査 L=1,500m	同左 L=1,600m	同左 L=1,500m	同左 L=1,500m						
事業内容 事業量等	羽村堰下橋耐震補強等工事	羽村橋耐震補強等工事								
		羽村堰下橋外2橋点検 (5年ごとの法定点検)								
	堂橋耐震補強等工事									
	小作駅自由通路点検									

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層∙職種別	平成28年度(現況)		平月	成29年度	平月	成30年度	平成31年度	
哦/旨·哦作之	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2 人	750 H	2 人	450 H	1人	75 H	1人	75 H
主事•主任職	2 人	150 H	2 人	225 H	3 人	300 H	3 人	300 H

② 事業費

	于 木貝				
事	業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	事業費	217,810	121,135	78,474	79,578
	人件費(係長職)	7,463	4,478	374	374
	人件費(主任・主事職)	1,020	1,530	3,060	3,060
総	事業費(合計)	226,293	127,143	81,908	83,012
	国庫支出金	71,610	8,800		
	都支出金	5,785	21,570	20,000	20,000
	受益者負担額				
	その他特定財源				
	一般会計繰入金		16,000		
	起債				
	一般財源(人件費含む)	148,898	80,773	61,908	63,012
財	源内訳(合計)	226,293	127,143	81,908	83,012

③コスト計算

ア 市民56,079人における1人あたりのコストは、イ 対象者人における1人あたりのコストは、ウ 成果(物)の 出来高

2,267	 	
	円	_
のコストは		円

※ 対象者:

平成29年度 【事務事業評価	i(事後)】			管理No	144
Do(実行) 5.実施結果					
	画を見直し完了(次年度以降計画を	見直す) □遅延	一中断	
無 有		指示事項・改善			
近年、資材め、工事の早		足などの要因となり 事着手を基本として	り契約が不調となる事 て取り組んだ。	§例が散見る	されるた
②活動実績 「羽村市道路維持保全計画」及	がいけまちか	E ま会化 枚 絴 計画	」に甘づき 送吹・歩	かの維持収	会 を宝
施しており、現地測量等を早期にた。					
③投入実績	マケカ(ツ/カ)	建工 法田姑人	マケ奶(目の) 油	公 克	44 年
決算の内訳(単位:千円) 事業費	予算額(当初) 121,135	補正・流用額 3	予算額(最終) 決 111,135	算額 110,927	<u>執行率</u> 99.8%
	当初計画	実績	111,100	110,027	00.070
年間業務時間(人件費の目安)	人数 概算時間	人数概算時間			
係長職 主事·主任職	2 人 450				
(工事·工证職 ④事業量(活動量)	2 人 225	H 2 人 225	Н		
実施計画			今年度実統	責	
〇市道補修等工事 1,380m		○市道補	前修等工事 3路線 1	449m	
OFWD調査委託 1,600m			查委託 6路線 1,60		
〇羽村橋耐震補強工事			野村震補強工事 第一番 は odf にお		
〇羽村堰下橋外2橋点検		〇羽竹堰	图下橋外2橋点検		
Check (評価) 6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 □ 上位施策(基本目標・施策 当性 □ その他(効 率性 □ 最少の人件費・事業費で事 率 法 □ その他(有 成 □ 計画の事業量に達しなかった 事業の目標が達成された □ 施策の基本方針」に対する 「羽村市道路維持保全計画」及)を達成する為に必要 まである	な事業である 者・対象者のニーズ(需:	間活力を活用している	課長	評価へへ
施し、当初目標以上の実績となる	った。				
Action【改善】 8.今後の方向性 U 現状のまま継続			なの見直し □休止・	<u> </u>	完了
道路舗装の点検や調査を継続査定等に基づいて、毎年度計画			₹把握して、その結果	及び各年度	もの予算
【今後の取組方針】 安全で快適な道路環境を維持	するため 棒沙耳	基命化修繕計 面	道路保全計画及び	首 路補修修:	縒宝協プ
ログラムに基づき道路橋梁の維		CV) Hu ICIPINGI I III (足叫 小工 口 凹 及 い ル	그 나나 (배) 나고 (*)	では大心にノ

平成29		【基本シート】) m	4			
1.基本	項目	± * * *			部署		市建設 部	マサイナ	土木課
		事業名			1年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 主	要幹線道路	格の整備		不明	年	継続	自治事務(市独自)	業務委託日部	
01					年				
02					年				
03					 年				
l					ļ			 	
04					年				
05					年				
関連	課								
基本	目標 4	ひとと環境にやさし	い安全で快適なま	ち 施策	区分	29	道路	重点事業No.	3
2.事業	の概要			I .				ı	L
施策の基本方式	針す。	が安全で快適 号線・102号線(ī							
業内容	再整備を	ら級・102号級(1 と計画的に進め			. IO. , III.	W/17/1	")—Newe	1700・垣崎	垛児C 仏の
根拠法	令								
条例 要綱等	<u> </u>								
女侧司	F								
3.実施	計画								
Pla	n【計画】	平成28年	度(現況)	ग7 ⊏	戊29年 月		3か年計画 平成30年度	। जन	31年度
		市道第101・102	号線(市役所 同	一 <u>干</u> 刀 引左	XZ9 牛店	_	十八30十尺 後関との協議・調整		
		通り)再整備計	画の検討						
	業内容 業量等								
4.投入	.指標(成:	果の達成、及び	活動するため	かに投入	する資	源【ヒト・モ	ノ・カネ】)	<u> </u>	
①年間	業務時間	引(人件費の目					当たりの年		
	職層•	職種別	平成28年度			成29年度	平成30年		成31年度 「照答時間
係長晴	ŧ		人数 概算	<u>算時間</u> H	人数 1 人	概算時間 10 F		時間 人数 10 H 1 人	40
	<u>~</u> 主任職			H	一			H 1人	50 H
②事業	費								
事業費	<u>での内訳</u>	(単位:千円)	平成28年度	E (現況)	平月	成29年度	平成30年		成31年度
	業費 牛費(係長	(胎)				50))	0 50	8,100 50
	<u>- 曼(水区</u> 牛費(主任	·主事職)						- 00	170
	費(合計))				5()	50	8,320
	車支出金								
	支出金 益者負担								
	の他特定								
— <u>f</u>	股会計繰								
起位		# # _ + · \				-		F0	0.000
	投財源(ノ]訳(合計	(件費含む)				50 5 0		50 50	8,320 8,32 0
<u> </u>		<i>'</i>				01	<u>'I</u>	JU	0,320
ア市		56,079	人における1,	人あたり	のコス	-は、 📙		1円	
	象者		人における1 <u>.</u>	<u>人あたり</u>	のコス	〜は、		円	
ウ成り			の出来高			<u></u>	のコスト	は	F.
※ 対象	象者:								

	/// \ T			to the second	
平成29年度 【事務事業評価	(事後)】			管理No	145
Do(実行)					
5.実施結果	_,		_,		
計画どおり完了	画を見直し完了(次年度以降計画	劃を見直す)]]遅延 □□□中	断
①指示事項•改善					
無有		指示事項・	改善内容		
②活動実績					_
市道第101・102号線の再整備					至っていな
い。このことから社会情勢の変化	など様々な視点	から問題点等σ)抽出を実施して	いる。	
③投入実績					
決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正•流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	0	0		0	_
	当初計画	実績			-
年間業務時間(人件費の目安)	人数 概算時間		時間		
孫長職					
主事・主任職	1人 10		10 H		
	시	H 人	Н		
④事業量(活動量) 実施計画			<u>۵</u>		1
			·		
〇市道第101・102号線(市役所通	通り)再整備計		道第101·102号線	(市役所通り) 再	事整備計画
画の検討		の検討	┪		
Check【評価】					
6.事業の評価 S…より適切	たナの ^済	切なもの	B…課題があり、	△後 み羊状。	ひ 亜 ナッナ の
項目 3…より週初	なもの A… 適	タリなもり	ロ…味風かめり、		長評価
				- 京2	
妥	を達成する為に必要な	ょ事業である			A
当 要 □ 今の社会情勢に見合う事業	である 🗌 利用:	者・対象者のニーズ	(需要)がある		Δ
一 性 性 ン □ その他 ()	
<u> </u>				· · · 7	
対 ☆ □ 最少の人件費・事業費で事	務か執行されている		民間活力を活用して	いる	A
本 手 二 業務の進め方や手続きを簡	略化・簡素化している				Δ
性 ン その他 (工事手法の検討を	進めるとともに、道路の)維持保全に努め、必	要な対策が図られてい	る。)	/ \
- - \					
有 へ 計画の事業量に達しなかった	: 計画の事業	:重に選した	計画以上の事業量で	を達成した	
効 果 事業の目標が達成された	□ 事業の効果	:が表れている			\mathbf{H}
性 一 施策の基本方針推進するう	えで具体的な成果が	あった			
		3 - 2			
7.「施策の基本方針」に対する本		計画を吹せる冷	ちぬ金米さの枚丝さ	宇佐した。引き	《主土 田田
市道第101・102号線については				夫心した。かさ	枕さ、味理
整理に取り組みメインストリートに	-かさわしい担め	^{味児と} はるよう	央引で祝いる。		
Action【改善】					
8.今後の方向性					
現状のまま継続 レレベル	アップ 縮/	小 🔲 実施 🗈	E体の見直し 匠	休止·廃止	完了
【改善点】	رسی	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	<u>-</u>	4	
	- 送吸继性原本	計画を外せる	送吸の34枚 です	の公田生と述り	火柜吕块式
		可回で始まん、	担鉛の以修工争	の必安はや追	4個貝件队
等を検討し整備促進を図っていく		無重サルのウェ	81.61.专士物1	=田 軟 ナ 137 フ	
また、道路整備に合わせ、景観	及び防災国から	無竜性化の美地	別に同け果兄都と	一調金を凶る。	
FA (4) O T- 40 41 3					
【今後の取組方針】	1111			\\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
市道第101・102号線(市役所通	り)については、	市のメインストリ	ートにふさわしい	直路環境となる	よつ冉整
備を計画的に進めて行く。					

	・本ンート】			·		-len -l	-+-n +-l			
	± 44. <i>b</i>			部署			建設部	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	 	土木課
	事業名			年度	実施		事業種別	運営手		プロジェクト
00 道路の案内標識 <i>の</i>)改善 —————		半成	30 年	継組	統	自治事務(市独自)	業務委託	一十(部)	0
01				年						
02				年						
03				年						
04				年						
05				年						
								<u> </u>		
'	と環境にやさしい安	安全で快適な	まち 施策	区分	29		 道路	重点事	業No.	6
 _2.事業の概要										
_{施策の}	安全で快適に	利用できる	るよう道路	格梁≀ 香梁≀	機能の	充実 ²	や適正な維	持管理(こ取り	り組みま
事 東京2020大会を		市へ訪れ	る外国人	いたも、	わかり	やすい	表記にする	るため、	道路	の案内標
_業 識の改善を進め 内	ます。									
容										
根拠法令										
条例										
要綱等										
3.実施計画										
Plan【計画】	平成28年度	(現況)	₩ 5	29年度	∓ Γ		か年計画 成30年度		ज d:	01年亩
	道路案内標識の改	τ善箇所調査	関係機関と				- <u> </u>			31年度 板・通称名板の
			表記方法の	検討	1	(約80枚	()	改善(約90枚	女)
事業内容										
事業量等										
4.投入指標(成果の								明 业	上四1	
①年間業務時間(人		/ L T T T T T T T T T T T T T T T T T T	<u> </u>		<u> </u>		当たりの年[平成30年		五1	或31年度
職層∙職種	重別		算時間	人数	概算	時間	人数 概算	時間	人数	概算時間
係長職		<u> </u>	H	1人		5 H	1人		1 人	38 H
主事·主任職 ②事業費		人	<u>H</u>	人		Н	人	Н	人	Н
事業費の内訳(単	位:千円)	平成28年	度(現況)	平月	成29年)	度	平成30年	F度	平月	或31年度
事業費	, 1 1 0/					0		7,700		8,000
人件費(係長職)	市 助)					25		190		190
人件費(主任·主 総事業費(合計)	.争取)					25		7,890		8,190
国庫支出金						20		3,500		3,700
都支出金										
受益者負担額										
その他特定財源 一般会計繰入金										
起債	<u> </u>									
一般財源(人件	費含む)					25		4,390		4,490
財源内訳(合計)						25		7,890		8,190
③コスト計算 ア 市民	56,079 人(こおける1	人あたい	のコマリ	\ /±			1円		
イ 対象者		こおける1				╠				
ウ 成果(物)		出来高	- 105127			<u> </u>	のコスト			T _E
※ 対象者:		· · ·		-				<u></u>		

平成29年度 【事務事業評価(事後)】 管理No 146
Do【実行】
5.実施結果
無有指示事項·改善内容
②活動実績
平成30年度、平成31年度の実施に向け、財源(社会資本整備総合交付金)の獲得等、関係機関と調整を 図った。
また、交換が必要となる道路標識等の精査を行った。
③投入実績 決算の内訳(単位:千円) 予算額(当初) 補正・流用額 予算額(最終) 決算額 執行率
決算の内訳(単位:千円)
年間業務時間(人件費の目安) 当初計画 実績 実績
T
主事·主任職 人 H 人 H
④事業量(活動量) 実施計画 今年度実績
○関係機関との調整 ○関係機関との調整
し
Check (評価) Check (評価) 6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの
項目 課長評価 課長評価
安
☆ ○ □ 最少の人件費・事業費で事務が執行されている □ 民間活力を活用している
→ 手
性 ン
有 へ 計画の事業量に達しなかった 計画の事業量に達した 計画以上の事業量を達成した 対
性 ン 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった
7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価
平成30年度、平成31年度の実施に向け、財源(社会資本整備総合交付金)の獲得等、関係機関と調整を 図った。
また、交換が必要となる道路標識等の精査を行った。
Action【改善】
□ 現状のまま継続 □□レベルアップ □□縮小 □□実施主体の見直し □□休止・廃止 □□完了
【改善点】
「今後の取組方針」 「東京の200世とような、 クロール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に道路案内標識を外国人にもわかりやすい表記へ改善を図 z

る。 平成30年度から平成31年度までに段階的に取替えを行う。